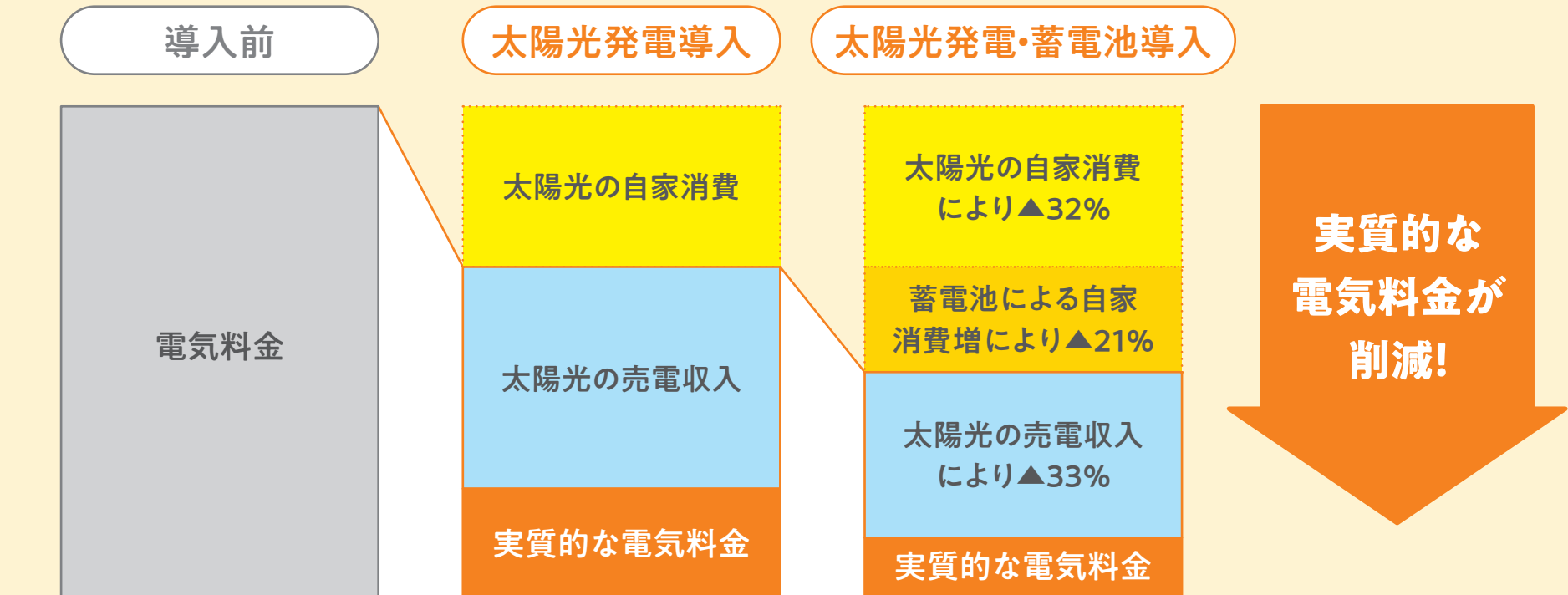


電気料金削減イメージ



※別途カテエネリース利用料が10~15年間発生します。

<太陽光発電+蓄電池導入時の算定条件>本試算結果は、当社保有データに基づくものであり、実際の料金は電気の使用状況や発電状況、設備の経年状況、ライフスタイルや住宅環境の変化によって変わります。●電気とガスの併用住宅の前提(中部電力パワーグリッドエリアのお客さま)●年間電気使用量3,840kWh ●太陽光パネル出力4.104kW、蓄電池容量6.5kWh●年間発電電力量4,514kWh(小数点以下切り捨て)。うち太陽光発電による自家消費量を1,354kWh(発電量の約30%)、蓄電池による自家消費量を902kWh(発電量の約20%)と仮定●電気料金:中部電力ミライズ「おとくプラン」(2024年4月1日時点での適用単価(消費税等相当額10%込みの金額))契約容量40A●再生可能エネルギー発電促進賦課金、燃料費調整額は含みません。●2024年4月時点の再生可能エネルギーの固定価格買取制度にもとづく買取単価(16円/kWh)